

第12号

平成11年
3月1日

題字
植木 満支部長

東進

発行所

土浦一高東進会

茨城県立土浦一高
進修同窓会
東京支部

事務局 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-2-10 サニープラザ新宿御苑1102
大野金一法律事務所内 ☎03-3357-4311 FAX 03-3357-4312



青山前校長を囲んで当番幹事の昭和39年卒業の皆さん

ホールにジェンカの輪

昨年六月六日午後一時より、平成十年度東進会の総会・懇親会が東京プリンスホテル、サンフラワーホールにて開催されました。出席者は一四〇名でした。

総会では、新校長の長瀬宗男氏(昭34卒)の挨拶や、岡本宗重氏(昭29卒)により、同期の一色邦彦氏の母校旧玄関前モニュメント制作費支援の依頼などが行なわれ、懇親会は三浦みさ子氏(昭和39卒)の司会で進められ、前校長の青山和義氏(昭31卒)の挨拶、渡辺光夫氏(昭20卒)により、古希の方々と、恩師川波美喜也氏の紹介などが行なわれました。アトラクションは、当番幹事の石引洋志氏のお嬢様が所属している若旅かぞこジャズカンパニーのメンバーによるジャズダンスで、磯節、ティクファイブ、戦友、青春時代と、東進会に合わせた選曲で素晴らしいダンスを堪能しました。ジェンカはダンサーのリードで全員が参加して会場を飛び跳ね、楽しく運動をさせていただきました。

当番幹事の三九年卒の皆様は準備に長期間御苦労様でした。

次回の総会は四〇年卒の当番で、六月一九日(土)午後二時から東京プリンスホテルにて開催されます。多数の出席を期待しております。

東進会 パーティ参加(讃歌)

フリーライター 上田 龍児
(高理三回)・昭49卒

昨年の東進会の総会・懇親会に参加した。このパーティに参加したのは二回目です、六年ぶり。『土浦一高』という響きがちょっと懐かしくなると、同時にもう一つの理由が。実は小生、土浦一高一〇〇周年をダシにして『初恋の女性』に、年賀状を出したら返事がきて、昨年の五月の連休に逢えたのだ！(彼女も一高卒で、名字は昔のままだった)。一高絡みで、素晴らしい時を持ってたんだから、久しぶりに東進会パーティに参加しようと思ったワケ。

で、当日。会場の東京プリンスホテル玄関の「土浦一高東進会総会」のデカイ立て看が誇らしい。大先輩方の挨拶、アトラクション、立食パーティと進行。今年のアトラクションは元SDKダンサー達のジャズダンス。シースルー気味のドレスを着て、脚を擦ね上げる若いダンサー達の躍動肢体を観て、思わず『いいねエ』。ショーが終わると、彼女達は舞台から降りてきて、老(?)亀城健児達の間に入り、互いに両手を肩にのせジェンカを踊りだす。大先輩達は笑いながら元気に踊りだす。じゃなくって歩きだした。いつまでも若さが残るって、いい事です!

一つ残念なのは三〇〜四〇代の、同窓会では「若い」OB、OGの参加が少ないこと。でも小生は今回、一六人の先輩と一人の後輩と知り合いになった。歳は違っても、同じ学舎で青春を過ごした、という共通項は強い。そして何より、東進会メンバーは多士済済。これが面白い!



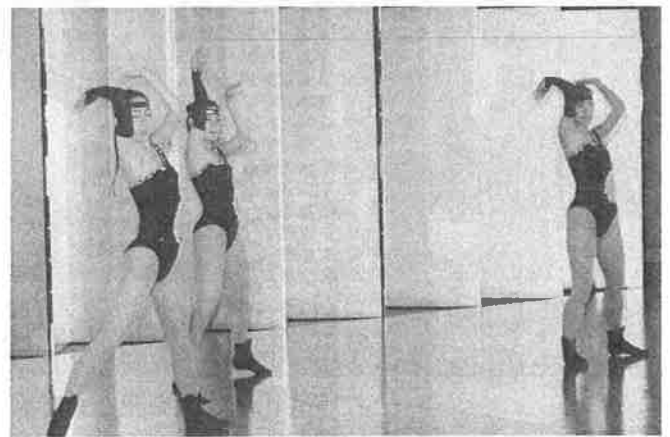
総会出席の若手の面々



総会での植木会長挨拶



ジャズダンス=青春時代



ジャズダンス=テイクファイブ



みんなニコリ



レッツ、キッス、ラララララ〜



会場に広がるジェンカ



長瀬宗男校長と青山和義前校長



「みんな踊りましょう」

「チョットひと休み」



足並みそろえてワン、ツー、スリー



次回当番幹事の片桐氏、東郷氏、鈴木氏



若旅かずこさんによるお嬢様の紹介で顔をほころばせる石引氏



懇親会も終りに近づき全員で校歌斉唱 ♪ 沃野一望数百里～ ♪

謳 粹 会 の 記

謳粹会は、銘酒をたしなみながらその季節の料理を楽しむ会で、東進会の催しの一つとして平成一〇年九月に発足しました。会長にはこの道の達人である篠田康さん(中四五回昭二〇卒)です。篠田さんは銀座一五番街の割烹等が加盟している銀座一五番街食味会の常連であり平成五年にはその機関誌に掲載した記事をまとめて「食味会つれづれ記」を出版されました。ただのグルメとか食通ではありません。例会は毎月第二金曜日午後六時三〇分から、原則として「玉淀」で開催しています。

第一回(平成一〇年九月一四日、一七名出席)の会では、「故郷茨城の酒と肴」という趣向で、懐かしい故郷を思い起こしながら、茨城のお酒と『玉淀』の料理長さんが腕を振るった肴をご堪能頂きました。焼き魚は、霞ヶ浦のわかさぎの白焼に、そして白魚の天ぷらも。お酒は、大野理事長のお取り計らいで、協和発酵から「大吟醸・雪の花」(この酒は協和発酵がお得意様の中元・歳暮のご贈答用に醸造しているもの)で、一般には手に入らない品です。を寄贈いただき、また、吉沼の浦里酒造店より「霧筑波」を直接取り寄せてくれました。そして、大吟醸



第一回謳粹会 前列右より大野氏、小貫氏、篠田氏、砂山氏、長戸氏、坪井氏、中列右より久松氏、砂川氏、田村氏、土金氏、丹羽氏、坂本氏、後列右より露木氏、上田氏、加岡氏、猪俣氏

第二回(平成一〇年一〇月二日、一名出席)は、「冷おろしの会」と名うって銘柄にこだわらず、冷おろしの酒を集めました。冷おろしとは、秋の涼しさを迎えて、一番先に蔵出しされる美味しい生酒です。そ

れに、先月も飲んで頂いた大吟醸「府中誉・渡舟」を土浦市在住の久松建一さんから再び、寄贈いただきました。

冷おろしは、「澤之井」(小澤酒造(株))「八重」(ヤエガキ酒造(株))「越の華」(越の華酒造(株))「神亀」(神亀酒造(株))「天領」(天領酒造(株))でした。

第三回(平成一〇年一月五日、一〇名出席)は、「玉淀」の山口伸一料理長の真心が舌に感じられる初冬の料理に、ふぐ、白子、牡蛎は今年の初物でした。そして、冬の「かぶら蒸し」を思わせる、熱々の「だいこん蒸し」が心まで暖めてくれる。



乾杯の音頭を取る 渡辺常任顧問(中央)

特に蟹は解禁間もない高価ものを、刺身で食べられるほどの活きの好い品が大皿に山盛り出ました。嘔むと、ほのかな甘みが美味しいダシと一緒に口中に広がり、野菜が不出来の昨今ですが、厳選されたパリッとした白菜、葱も味が染みていました。最後は雑炊でなくウドンを炊いたものでした。昭和二〇年卒の渡辺常任顧問はスープが美味しいと、何度も何

度もお代わりをしていました。冬の訪れにシミジミ「口福」を感じる一夜でした。

第四回(平成一〇年二月三日、三〇名出席)は、東進会役員、学年幹事の忘年会も兼ねて、平成一〇年一月三日六時三〇分から銀座「ファゼンダ」で開催しました。乾杯は、最年長、昭和二〇年卒の山口進さんの音頭で行い、宴会が始まりました。その宴会の最後に、端のテーブルから一人一人自己紹介が始まり、そして終わり近くになって、最後の一人、昭和四一年卒の高山了さんが、小田原の富士フィルムから駆け付けてくれました。

自己紹介が終わると、もう残り時間は少なくなったが、カラオケタイムになり、最初に乾杯の音頭を取った山口さんが立ちました。曲は菅原洋一の「別れの曲」。山口さんは、日本オペレッタ協会の役員だけあって、確かな音程、音階、抑揚で、素晴らしい雰囲気で我々を包んでくれました。その上手さは流石であると、皆さんが絶賛しました。しかし、この後は誰もマイクを握る人も無く、閉宴の時間となり、渡辺常任顧問の閉会の言葉で年忘れの会は幕となりました。外はまだ冷たい雨が降っていました。

第五回(平成一一年一月一四日、一五名出席)は、加賀料理で新年を祝おうということになり、寒ぶりの



右から 萬歳楽、伊佐美、土佐鶴、女泣かせ、劍菱、霧筑波

お造りに始まり数々の加賀料理を出していただきました。このため玉淀の坂本さんは二人の料理長を伴って金沢に飛び、実地で直接研修をしてこられました。正月にふさわしい豪華な味を多くの方に賞味していただきましたが、当日の献立をご紹介しますと、
(和え物) 胡麻和え、くらげ 他
(椀物) 蟹しんじょう、結び三つ葉、柚子 他(お造り) ぶり、鯛薄造り
他(酢物) 蟹上身、香酢(煮物)
次部煮、京芋 他(揚物) 海老芋、蟹素揚げ 他(蒸し物) 蟹焼売湯葉皮(飯物) 栗おこわ(留汁) なめこ汁 他(香の物) 季節の物三種(水物) キウイ 他
お酒は、大野理事長寄贈の「霧筑波」「劍菱」、砂川憲二氏寄贈の銘酒「土佐鶴」、坂本常任顧問寄贈の「萬歳楽」、露木副会長寄贈の幻の焼酎「伊佐美」、それに購入した「女泣かせ」と、六升も集まり、二本は次回に残す結果となりました。

誼粋会 今後の予定

- 第6回 平成一一年二月二日 四谷『美味小家』会費七〇〇〇円 西欧の鍋とワインで舌鼓
- 第7回 平成一一年三月二日 大塚『玉淀』 搾り立て粗ばしりの会
- 第8回 平成一一年四月四日 『キンビール工場』・『牛久シャトー』 桜の下でお酒を愛でる会
- 第9回 平成一一年五月一四日 大塚『玉淀』 犀の空の下銘酒を楽しむ会
- 第10回 平成一一年六月一一日 銀座『わらすこ』 いわし料理で口福に
- 第11回 平成一一年七月九日 駒形どぜう どぜう鍋でスタミナを
- 第12回 平成一一年八月一三日 吾妻橋『あみ清』 屋形船でお江戸の暑氣払え
- 第13回 平成一一年九月一〇日 大塚『玉淀』 一周年記念銘酒佳肴の会
- 第14回 平成一一年一〇月八日 人形町『玉ひで』 江戸シャモ鍋で酌む秋上がり
- 第15回 平成一一年一二月二日 赤坂『四川飯店』 鉄人の料理で月の桂を楽しむ

誼粋会の例会

(原則として) 毎月第二金曜日 午後6時30分から 「玉淀」です 会費：5,000円 御出席される方は、予め事務局へお知らせ下さい。

山田 明君を追悼する 芳尾 敬一

(高五回)・昭28卒

「もしもし、今日主人が亡くなりました。」八月三十一日午後五時過ぎ、月末の仕事を終えホッと一息つき帰宅の支度をしようとしているところに山田夫人からの電話。愕然。しばらく山田からの連絡がないので電話を入れなければと思っていた矢先だった。雨天で中止にはなったものの前日は納涼屋形船の予定で浮かれていた自分とは対照的に山田はいまわの際に立ち死と向き合っていたのだ。

一九四五年五月一日、先の東京大空襲で焼け出されてようやく疎開先の土浦国民学校五年一組に転入してきた時が山田(旧姓篠原)との始まりである。以来土浦一高を卒業するまで彼は唯一クラスメイトであり続けた。社会人となった後も何かと相談しあったり、助け合ったりして付き合いが途切れることが無かった。土浦一高時代には二年のとき、黒田、池田らと「郵便友の会(ペンフレンドクラブ)」を結成したことが思い出となる。篠原明(当時)と言う名の響きは余程いい男に聞こえるらしく、札幌、甲府、長浜(滋賀)と三人いた彼のペンパルはことごとく美人ばかりで羨ましかった。一高・三高の郵便友の会の人達とも交際が

続づいており懐かしい。「東進会」新支部の発足には尽力してくれた。繰越金が一円も無かったので、黒田前支部長、植木現会長から二〇万円ずつの寄付金をいただき案内状の発送費用に充て当座をしいだ。当初の六年間は会計幹事として、以降は監事として役目を果たしてくれた。まだ元気だった会計幹事の頃でも総会では決して懇親会会場には入って行くことはなく受付で縁の下の力役をしてきていた。山田は大変無口で自分のことをあまり語ることが無かった。その病苦は語るに尽くせるものではなかったに違いない。その苦しみを察してあげられなかったことが返すがえすも無念でならない。またとない山田と言う友人をなくしたことは悔やんでも悔やみきれない。五三年四カ月の付き合い有り難う。 冥福を祈りながら一九九九年一月一五日合掌。



いつもやさしく、笑顔の絶えなかった山田 明君

東進役員会 学年幹事会議事録

▽平成10・3/25 6:30PM 玉淀

出席者 植木満(8)、渡辺光夫(20)、篠田康(20)、山口進(20)、寺内昭一(20)、坪井洋(27)、芳尾敬一(28)、露木修(31)、大野金一(31)、田村恒(31)、佐々木弘司(33)、湯原勝明(33)、中島豊治(35)、大土英三(35)、土金雅晴(36)、宮本誠之(38)、加固哲夫(39)、江崎久枝(39)、片桐敬子(40)、長戸琴(41)、久松信明(41)、幕内邦夫(43)、中島敏勝(43)、岡崎孝宣(44)、猪俣勝広(45)、丹羽秀男(46)

(敬称略)

●総会当番学年幹事よりアトラクション、タイムテーブル説明。

平成六年度収支決算案 平成十年度予算案 説明報告。

総会会費について議論 男性・年会費三、〇〇〇円十九、〇〇〇円 女性年会費三、〇〇〇円十七、〇〇〇円。

次回、四月二三日に総会案内状一式の封筒詰を行なう。

ゴルフの会を五月二三日に開催する。参加者の募集する。

▽平成10・4/23 6:30PM 玉淀

出席者 渡辺光夫(20)、篠田康(20)、山口進(20)、杉山弘(23)、坪井洋(27)、大野金一(31)、坂本善之(31)、田村恒(31)、露木修(31)、沼里征二(33)、大土英三(35)、中島豊治(35)、土金雅晴(36)、矢口照雄(37)、中島穰(38)、宮本誠之(38)、江崎久枝(39)、加固哲夫(39)、片桐敬子(40)、久保木清三(40)、長戸琴(41)

久松信明(41)、岡崎孝宣(44)、猪俣勝広(45)、鈴木良治(45)、蛭原芳和(46)、丹羽秀男(46)

(敬称略)

●総会案内状、振込用紙、会報、封筒、宛名ラベル等、学年別にまとめ学年幹事が持帰り封筒詰・発送を行なう。

▽平成10・5/27 6:30PM 玉淀

出席者 植木満(8)、渡辺光夫(20)、篠田康(20)、芳尾敬一(28)、岡本宗重(29)、大野金一(31)、田村恒(31)、土方登志子(32)、中島豊治(35)、中島穰(38)、宮本誠之(38)、江崎久枝(39)、久保内綾子(39)、加固哲夫(39)、鈴木達(39)、片桐敬子(40)、長戸琴(41)、久松信明(41)、幕内邦夫(43)、岡崎孝宣(44)、猪俣勝広(45)

(敬称略)

●岡本宗重氏(昭和29卒)より、同期の一色邦彦氏が制作、寄贈された母校百周年記念モニュメント制作費応援のお願いを総会で行なう。

総会出席者が予定の人数より少ないので学年幹事は声を掛けて参加者を増やすようにする。

アトラクション、ジャズダンスの若旅かずこさん紹介。

料理と酒を楽しむ会「謳酔会」の説明。



一色邦彦氏作 百周年記念モニュメント「天極」

会員いんぷおめーしょん

*旧中昭和二〇年卒四五回生関係
☆叙勲・心よりお祝い申し上げます。

平成一〇年四月二十九日付
豊崎寛・勲四等瑞宝章

自動車整備事業振興による
現茨城いすゞ会長
小松静夫・勲四等瑞宝章

電気通信事業振興による
運輸省勤務・電気通信振興会理事
★計報・ご冥福をお祈り申し上げます。

越川 弘・平成一〇年五月廿日逝去
東京豊島生果に勤務し生果流通業
界で活躍

野上和夫・平成一〇年九月三日逝去
さくら銀行・第一相互等に勤務し
銀行業界で活躍。

●学年幹事は、同期会員の動向を、事務局までお知らせ下さい。

七月二八日(火)午後六時三〇分
より玉淀で総会・懇親会の反省会も
兼ねて暑気払いを行いました。

出席者二〇名全員に発言していた
だきました。アトラクションのジャ
ズダンス・ジュンカは良かったとの
感想がありました。が、出席者が減
少傾向になっており、若い人をいか
に増すか。軽い気持ちで参加できる
ように、幹事会に新しい人を呼んで
来る。未知の世界には入りぬくいも
のだが、入ってみると良い人ばかり

で、明日にもお世話になるかも知れない。など総会・懇親会の出席状況
に関しての意見が多く出ました。

五月二三日(土)

一六名の参加でゴルフの会が催され
楽しい一日を過ごしました。



ゴルフ参加の皆さん

★ 編集後記 ★

前号に記載しました平成九年度の懇親会・福引への景品提供者で、総会当日に頂いた方がリストに入っていないだったので記載されませんでした。申し訳ございませんでした。

今号発行が大変遅くなりました。会員の皆様には多大なご迷惑をお掛け致しました事を、お詫び申し上げます。次号は四月に発行致します。

(久松)